

平成29年度

第1回外部評価委員会



平成29年5月29日（月）

大分県立農業大学校

次 第

- 1 開 会
- 2 外部評価委員委嘱、紹介
- 3 学校長あいさつ
- 4 本校職員紹介
- 5 大分県立農業大学校評価制度について
- 6 議 事 （進行：委員長）
 - (1) 報告事項
平成28年度重点目標等の取り組み結果について
 - (2) 審議事項
平成29年度運営方針を踏まえた数値目標と主な対策について
 - (3) その他
- 7 閉 会

諸連絡

大分県立農業大学校評価制度について

大分県立農業大学校 学校評価要領

平成 23 年 7 月 1 日 制定

(目 的)

第 1 条 この要領は県農業の担い手育成のために求められる質の高い教育を提供するとともに、地域に根ざした開かれた大学校づくりを推進するため、学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に基づき、大分県立農業大学校(以下「農大」という。)が行う学校評価について定める。

(自己評価)

第 2 条 農大校長は、教育・研修活動その他学校運営の改善を図るため、毎年度重点目標を定め、その達成に必要な評価項目などを設定の上、運営の状況等についての評価(以下「自己評価」という。)を行う。

2 自己評価を実施するため、別紙 1 に定める学内評価会議を設置する。

(外部評価委員会等)

第 3 条 農大が実施した自己評価の結果を踏まえた評価(以下「外部評価」という。)を行うため、農業大学校外部評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は、校長が委嘱する別表 1 の委員で構成する。

3 委員の任期は 2 年とし、再任は妨げない。委員に欠員が生じたときは、これを補充することができることとし、その任期は前任者の残任期間とする。

4 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員が互選する。

5 委員長は委員会を掌理し、副委員長は委員長に事故ある場合はその職務を代理する。

6 農大校長は、外部評価等のため農大の運営・教育・研修の状況、自己評価の結果などについて委員会に報告する。

7 委員会は、外部評価の結果を学校運営に関する意見とともに農大校長に報告をする。

8 農大校長は、委員会からの報告をもとに必要な措置を講ずる。

(公 表)

第 4 条 農大校長は、自己評価の結果及び外部評価の結果並びに意見について、農大のホームページなどに公表するとともに、大分県農林水産部新規就農・経営体支援課に報告する。

(その他)

第 5 条 自己評価の実施方法その他学校評価に関することは、農大校長が別に定める。

農業大学校外部評価委員

区 分	関係機関名	職 名
教育関係者	大分県高等学校 教育研究会農業部会	部 会 長
生 産 者	大分県指導農業士会	会 長
〃	大分県農業法人協会	会 長
〃	地元女性農業者	
卒 業 生	大分県立農業大学校同窓会	副 会 長
農業団体	大分県農業協同組合	常務(営農担当)
行 政	豊後大野市	農業振興課長
〃	大分県	中部振興局生産流通部長

平成23年7月1日 制定

平成24年4月1日 改正

平成28年4月1日 改正

学内評価会議

大分県立農業大学校 学内評価会議実施要領

平成 23 年 7 月 1 日制定

- 1 学校評価の実施や評価結果の分析、課題の検討などに関することを協議するため、農業大学校に学内評価会議を設置する。
- 2 学内評価会議は、指導職員で構成し、校長を議長とする。
- 3 校長は必要に応じ、評価結果の周知や意見交換のため、全職員を対象とした会議を開催する。
- 4 重点目標や評価項目、指標等は、校長が学内評価会議の意見を聞き、年度初めまでに定める。

参考 学校評価制度実施の根拠法令等

- ・平成 19 年 6 月：学校教育法改正

○第 42 条

小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。

○第 43 条

小学校は、当該小学校に関する保護者及び地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供するものとする。

※これらの規定は、幼稚園（第 28 条）、中学校（第 49 条）、高等学校（第 62 条）、中等教育学校（第 70 条）、特別支援学校（第 82 条）、専修学校（第 133 条）及び各種学校（第 134 条第 2 項）に、それぞれ準用する。

学校教育法施行規則(学校評価関係)：平成 19 年 10 月

○第 66 条（自己評価の実施・公表）

小学校は、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の評価を行うに当たっては、小学校は、その実情に応じ、適切な項目を設定して行うものとする。

○第 67 条（保護者など学校関係者による評価の実施・公表）

小学校は、前条第 1 項の規定による評価の結果を踏まえた当該小学校の児童の保護者その他の当該小学校の関係者（当該小学校の職員を除く。）による評価を行い、その結果を公表するよう努めるものとする。

○第 68 条（評価結果の設置者への報告）

小学校は、第 66 条第 1 項の規定による評価の結果及び前条の規定により評価を行った場合はその結果を、当該小学校の設置者に報告するものとする。

※これらの規定は、幼稚園（第 39 条）、中学校（第 79 条）、高等学校（第 104 条）、中等教育学校（第 113 条）、特別支援学校（第 135 条）、専修学校（第 189 条）、各種学校（第 190 条）に、それぞれ準用する。

学校評価スケジュール

月	学内評価会議	外部評価委員会
4	○当年度目標の共有 *当年度活動計画等	
5		○第1回委員会 *当年度組織運営説明 *当年度重点目標説明
12	(学生アンケート等)	
2	○当年度重点目標等に対する達成状況の検証 *分析・とりまとめ *次年度目標検討	
3		○第2回委員会 *重点目標に対する評価
		公表 報告
	(次年度目標の設定)	

*公表：農大HP等

*報告：県農林水産部新規就業・経営体支援課

平成28年度 重点目標と具体的取り組み結果について

運営方針1 活気あふれる学園づくり

【数値目標】 基礎学力を備えた入学生の確保：60名

評価：目標をほぼ達成 合格者55名(53名入学) 農業系学科33名

1 平成29年度入学試験実施状況と合格者数

(1) 推薦入試と一般入試

	実施日	受験者数	合格者数	() 内は女子
推薦入試	10/26	49名(14名)	46名(13名)	
一般入試	1/12	8名(0名)	8名(0名)	
二次入試	3/16	1名(0名)	1名(0名)	
計		58名(14名)	55名(13名)	

(2) 過去5年間の受験者数と入学者数

年度	H25	H26	H27	H28	H29
受験者数	49名	69名	54名	50名	58名
入学者数	41名	56名	53名	44名	53名

(3) 過去5年間の農業系学科出身者の入学者数

年度	H25	H26	H27	H28	H29
農業系学科出身	19名	27名	30名	31名	33名
対入学者比(%)	46.3	48.2	56.7	70.5	62.3

2 高校の進路指導への要請活動強化

(1) 県内全高校への学生募集(公立46校・私立14校・通信制4校 計64校)

第1回目(64校)、第2回目(64校)、第3回目(64校)、第4回目(38校)
第5回目(9校)

※4回目は27年度より31校増、5回目は追加実施

(2) 進路ガイダンスへの参加

公立7校11回、私立1校1回、地区6(大分3回、日田、中津、別府)計18回実施

(3) 高大連携の強化

平成28年度地域産業を担う農林水産高校生育成事業

・農業系高校1年生農大体験研修8校9学科

・三重総合高校との高大連携

農大での実習 1年6回、2年4回、3年5回

三重総での出前授業 2年5回

農大プロジェクト発表会 2年39名、3年2名 計41名

- (4) オープンキャンパスへの参加者の拡大
 - 第1回目(6/25) 55名(前年53名)
 - 第2回目(8/7) 63名(前年35名) 計118名(前年88名)
 - ※3年生参加者実数 73名(前年58名)
 - 保護者: 第1回24名、第2回27名 計51名(前年49名)
- (5) 学校説明会への参加呼びかけ(高校進路・振興局担当者等を対象)
 - 16校(公立14校、私立・通信制2校、計18名)、振興局等10名
- (6) 「卒業生から後輩へのメッセージ」作成・配布
 - 1年生母校(公立12校、3校)に配布
- (7) 受験に係る個別相談
 - 高校生・保護者との進路相談(県内2件・県外1件)
- (8) 高校・振興局・市町村・JA・JRへの学生募集ポスター掲示依頼
 - 高校64、振興局6、市町村18、JA等83、JR駅36

3 広報活動の強化

- (1) ホームページの適時更新と充実
 - 29回更新
 - (2) Facebookの開設(8月)
 - 当校139件、フォロワー435名(3月31日現在)
 - (3) マスコミへのPR(3月31日現在)
 - 新聞掲載記事4月以降16件、ラジオ1回
 - CATVの取材(豊後大野市9回)
 - (4) 農大出前販売実施
 - 農大出張直売所「みどりの風」(大分市中央町)7/28, 9/29, 2/3
 - 犬飼「川の港祭り」7/2
 - 野津町「ピンコロ朝市」7/17
 - 県農林水産祭「おおいたみのりフェスタ」10/15,16
 - 野上文化祭(九重町)11/26
- 計7回

運営方針2 質の高い教育の提供

【数値目標】 ○全国農業大学校等プロジェクト発表大会出場1名1課題以上

○日本農業技術検定3級以上取得者80%以上

評価：目標を未達成 全国大会出場0 3級以上取得者69.1%

1 プロジェクト研究の高度化と地域課題への対応

(1) 農林水産研究指導センター農業研究部（以下センター）・振興局との連携によるプロジェクト研究活動

○1年生プロジェクト（連携課題34課題）

水田：9課題 野菜：15課題 花き：2課題 果樹：5課題 畜産：3課題

○2年生プロジェクト（連携課題31課題）

水田：11課題 野菜：9課題 花き：1課題 果樹：7課題 畜産：3課題

(2) 研究成果の情報発信

・「ハウスミカンにおける垣根仕立てによる早期多収生産技術の確立」
（センター果樹グループ、東部振興局、杵築市森農園）

・「梨の流線型仕立て方法」（センター果樹グループ）

・「除角法の実践・普及」（東部振興局3戸、中部振興局2戸、豊肥振興局1戸、畜産担当普及員研修会）

・「あまねぎの品種選定」（全農、JAおおいた、広域普及員）

・「水稻奨励品種試験」（センター水田グループ）

(3) 平成28年度九州農業大学校等プロジェクト・意見発表会出場

○プロジェクト発表

「酪農女子にもできる！除角製剤を用いた除角法の改善と普及」

総合畜産科 2年女子

「ハウスミカンにおける垣根仕立てによる早期多収生産技術の確立」

総合農産科果樹コース2年男子

○意見発表 「葉物野菜の省力低コスト周年生産技術に託す私の夢」

総合農産科水田・野菜コース1年男子

(4) ヤンマー学生懸賞論文・作文に応募、内3課題入賞

作文の部：

金賞「米づくりで返す『ありがとう』」 総合農産科水田・野菜コース1年男子

銅賞「百姓の誇りを受け継ぐ」 総合農産科水田・野菜コース1年男子

銅賞「芽ばえ」 総合農産科果樹コース1年女子

(5) フラワーデザインコンテスト（花きコース）

○第25回大分県フラワー装飾デザインコンテスト

1位（フラワー装飾技能士会会長賞）：1年女子

3位（日本フラワーデザイナー協会大分支部長賞）：2年女子

奨励賞：1年女子

○2016NFD 第8回めじろんカップ

- 1位 (大分県知事賞) : 2年女子
- 3位 (日本フラワーデザイナー協会理事長賞) : 1年女子
- 4位 (大分県芸術文化振興会議理事長賞) : 1年男子
- 5位 (大分県職業能力開発協会 会長賞) : 1年女子
- 10位 (大分合同新聞社賞) : 1年女子
- 11位 (OBS大分放送賞) : 1年女子
- 14位 (エフエム大分賞) : 2年女子

2 農業法人等の期待に応えられる学生の育成

(1) 日本農業技術検定の合格者の向上 (3級以上80%目標)

- ・H28 取得者数合計 3級18名 2級6名
- ・技術検定取得者合計 3級62名 2級9名 計65名 65/95名 (69.1%)

※重複取得者有り

	3級以上取得率
H28卒業生	31.5%
H29卒生(現2年)	69.4%
H30卒生(現1年)	68.4%

(2) 総合経営特別講座の実施 ⇒2年生7名受講

- ・特別科目: 企業経営論、アグリビジネス論、消費者ニーズとマーケティング、農業簿記、農業経営分析、農村社会学、研修(先進農家、市場流通)
- ・特に、農村社会学では分大学経済学部地域システム学科山浦准教授の講義(直売所運営)の中で、大分大学の学生との交流も図られた。

(3) JGAP公開講座の実施(7回)

ICT推進: 果樹ハウス内の環境の見える化

(4) 農業数学、基礎数学の充実

農業数学: 2年生12名、1年生26名 基礎数学: 1年生16名

基礎数学は専門講師を配置

(5) 国立大学編入学合格

徳島大学1名

運営方針 3 新規就農者の確保

【数値目標】 全学生・研修生の進路決定と就農率 80%以上

評価：目標をほぼ達成 進路内定率 100%

就農率 80.2% (農学部 79.6% 研修部 80.8%)

1 農学部

(1) 進路状況

① 進路内定状況 (平成 29 年 3 月末現在)

	対象者	進路内定	うち就農					内定率	就農率
			自営	法人	兼業	研修	計		
学生	49	49	5	29	4	1	39	100.0	79.6

② 農学部過去 5 年間の就農率 (%)

年度	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
就農人数	3 3	3 4	3 5	3 1	4 2
就農率	7 0. 0	8 3. 0	7 9. 6	7 9. 5	7 6. 4

(2) 就職支援及び進路先の開拓

① 進路コーディネーターによる農業法人との連携強化

学生支援と進路相談の随時実施

- ・ 2 年生対象：11/17・12/21 進路ガイダンス、2/9 社会人心構え講座
- ・ 1 年生対象：12/8～16 進路ガイダンス

② 農業法人との就職相談会を開催

開催日：平成 2 8 年 5 月 1 8 日、参加法人 4 1 法人 (過去最高)

③ 農業法人等でインターンシップの促進

33 名参加

2 研修部

(1) 進路状況

	対象者	進路内定	うち就農					内定率	就農率
			自営	法人	兼業	研修	計		
就農準備研修	23	17	5	6	0	2	13	73.9	56.5

※H29.4 現在

(2) 振興局・関係団体との連携会の開催 (5 回)

- ・ 4/8、6/27、7/12、9/26、12/6、1/30

(3) 法人等農家研修 (6 品目、7 農家)

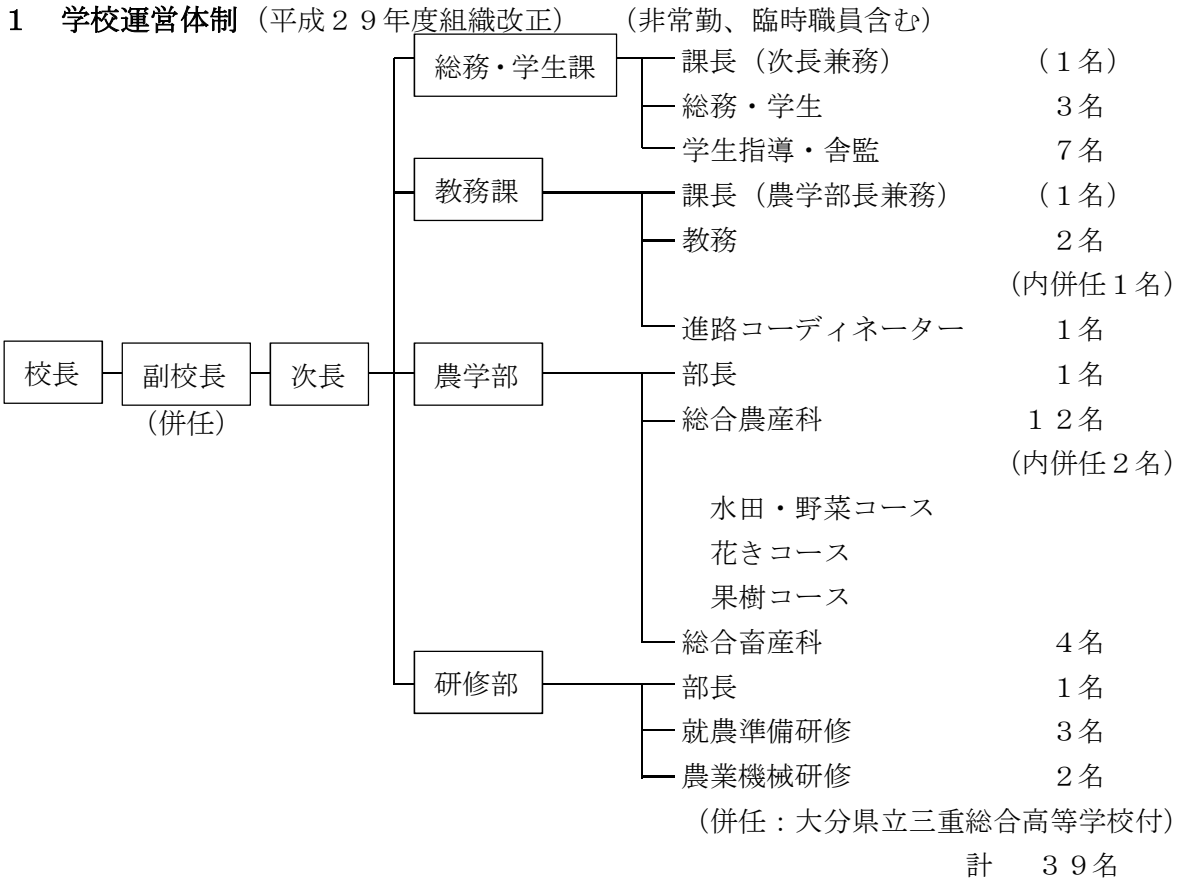
- ・ イチゴ(5/24、12/16)、ピーマン(6/30)、ニラ(8/3)、トマト(9/1)、市場 (10/22)、小ネギ(11/10)、白ネギ(11/15)

- (4) 農業法人との就職相談会（3会場、のべ34名参加）
- ・5/18 農業法人就職相談会（農大）13名参加
 - ・7/23 おおいた新規就農セミナー・相談会（大分市）2名参加
 - ・8/28 農業法人等合同就職説明会（大分市）1名参加
 - ・新規就農バスツアー（中部、北部、南部）計6名参加
- (5) 通信講座による就農への関心度向上
- ① 通信講座受講生の確保
 - ・各コース定員：20名、野菜コース6名、病虫害コース3名
 - ② 就農体験セミナー、就農準備研修への誘導
 - ・就農体験セミナー参加者1名

平成29年度 大分県立農業大学の概要

【農大の使命】大分県農業・農村の将来を担う人材の育成

- ・ 農業者研修教育施設（農業改良助長法）
- ・ 専修学校（学校教育法）
- ・ 短期大学卒業相当（人事院規則）



2 農学部 学生の状況

(1) 在校生の内訳

単位：名

学 科 コース (クラス)	総合農産科			総 合 畜産科	合 計	
	水田・野菜		花き			果樹
	(水田・露地野菜)	(野菜)				
1 年	14	15	8	10	6	53
2 年	15	15	5	6	4	45
計	29	30	13	16	10	98

※ 農業系学科出身者 66% : 1年 33名(62%)、2年 32名(71%)
 非農家出身者 76% : 1年 39名(74%)、2年 35名(78%)
 県外出身者 5% : 1年 3名(6%)、2年 2名(4%)

(2) 入学者数の推移

単位：名

	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9
受験者数	5 3	5 1	5 8	5 0	6 9	5 4	5 0	5 8
入学者数	4 9	4 6	5 3	4 1	5 6	5 3	4 4	5 3

(3) 卒業生の進路

単位：名、%

	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
卒業者数	3 4	4 0	4 7	4 1	4 4	3 9	5 5	4 9
就農者数	1 7	2 8	3 3	3 4	3 5	3 1	4 2	3 9
・ 自営	4	8	8	7	4	4	7	4
・ 法人	1 1	1 8	2 2	2 5	3 0	2 7	2 7	3 0
・ 研修	2	2	3	2	1	0	2	1
・ 兼業	—	—	—	—	—	—	6	4
就農率(%)	5 0 . 0	7 0 . 0	7 0 . 2	8 2 . 9	7 9 . 6	7 9 . 5	7 6 . 4	7 9 . 6

※ 2 3 年度までは卒業者数に専攻科学生を含む

3 研修部 研修生の状況

(1) 研修生の内訳

単位：名

研 修	就農準備研修					通信講座	
	長 期		中 期	随 時	計	野 菜	病 害 虫
コース	野 菜	畜 産					
H 2 8	1 3	0	1 2	1	2 6	6	3
H 2 9	1 3	2	募集中	募集中	1 5	募集中	募集中

(2) 就農研修者数の推移

単位：名

	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9
就農準備研修	1 4	1 3	2 5	2 8	2 5	2 4	2 6	1 5
テストファーム	3	6	1	3				
計	1 7	1 9	2 6	3 1	2 5	2 4	1 3	1 5

※H29 は長期コースのみ

(3) 研修生の進路

単位：名、%

	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
修了者数	2 0	1 4	1 9	2 6	2 8	2 5	2 4	2 3
就農者数	1 4	1 0	1 7	1 6	2 3	2 0	1 4	1 3
・ 自営	8	5	1 6	7	1 8	1 2	7	5
・ 法人	5	4	1	0	1	5	4	6
・ 研修	1	1	0	9	4	3	3	2
就農率(%)	6 0 . 9	7 0 . 0	7 1 . 4	8 9 . 5	6 1 . 5	8 2 . 1	8 0 . 0	5 6 . 5

※H 2 8 は平成 29 年 3 月 31 日現在。平成 29 年 6 月確定予定。

平成29年度 運営方針・数値目標・主な対策

運営方針1 活気あふれる学園づくり

【数値目標】基礎学力を備えた入学生60名の確保

《主な対策》

- 1 高校の進路選択への積極的な働きかけ
 - (1) 県内高校への訪問と農大への進学への働きかけ
 - ① 県内全高校（公立44校 私立14校 通信制4校 計62校）への訪問
 - ② 進路ガイダンス及び学校説明
 - ③ 進路指導担当を対象とした農大説明会
 - ④ オープンキャンパス「緑の学園」への参加者拡大
 - (2) フェイスブックによる情報発信
 - (3) 市町村、JA、JR等への募集ポスター掲示等依頼
- 2 高大連携の促進
 - (1) 新たな連携内容の検討
 - (2) 単位認定を前提とした実習や講義等の実施及び拡大
 - (3) 農業系高校1年生体験研修の実施
 - (4) 高校PTAによる農大視察依頼

運営方針2 質の高い教育の提供

【数値目標】試験研究機関及び地域との連携課題80%以上

日本農業技術検定3級以上取得者80%以上

《主な対策》

- 1 プロジェクト研究の高度化と地域課題への対応
 - (1) 農林水産研究指導センター農業研究部・振興局との連携プロジェクトの充実強化
 - (2) 九州大会・全国大会出場を目指したプロジェクト指導の徹底
 - (3) 研究成果の積極的な情報発信
- 2 農業法人等の期待に応えられる学生の育成
 - (1) 農業・農村のリーダー・指導者の育成を目指した「総合経営特別講座」の実施
 - (2) 大分大学との連携プロジェクトの推進
 - (3) 日本農業技術検定試験の推進及び試験対策指導の徹底

運営方針 3 新規就農者の確保

【数値目標】 全学生・研修生の進路決内定 100%
就農率 80%以上

《主な対策》

1 農学部

- (1) 農業法人等との就職相談会の開催
- (2) 農業法人等との情報交換、情報提供
- (3) 進路コーディネーターによる面談、進路ガイダンスの実施
- (4) インターンシップ研修への参加促進
- (5) 学生の資質向上と生活指導の徹底
- (6) 卒業生(過去3年)のフォローアップ

2 研修部

- (1) 振興局・関係団体との連携会の開催
- (2) 進路コーディネーターによる面談の実施
- (3) 就農相談会等への参加促進
- (4) アクティブシニア研修の開催